

ベクトル (1) ~ (4) の復習

①  $|\vec{a}|=1, |\vec{b}|=\sqrt{2}$  であり, 2つのベクトル  $\vec{a}+\vec{b}$  と  $3\vec{a}-2\vec{b}$  は直交しているとする。このとき, 内積  $\vec{a}\cdot\vec{b}$  の値, および  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  のなす角  $\theta$  ( $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ ) を求めよ。

【解答】  $\vec{a}\cdot\vec{b}=1, \theta=45^\circ$

② ベクトル  $\vec{a}=(1, 2), \vec{b}=(2, -3), \vec{c}=(-1, 3)$  について2つのベクトル  $\vec{a}$  と  $\vec{b}+k\vec{c}$  が垂直であるとき, 実数  $k$  の値を求めよ。

【解答】  $k=\frac{4}{5}$

③  $|\vec{a}|=2, |\vec{b}|=3, |\vec{a}+\vec{b}|=\sqrt{3}$  を満たすベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  を考える。実数  $t$  に対して,  $\vec{c}=t\vec{a}+\vec{b}$  とおくと,  $\vec{a}\cdot\vec{b}=\sqrt{\quad}$  であり,

$|\vec{c}|$  は  $t=\sqrt{\quad}$  のとき最小値  $\sqrt{\quad}$  をとる。

【解答】 (ア)  $-5$  (イ)  $\frac{5}{4}$  (ウ)  $\frac{\sqrt{11}}{2}$

④ 原点を  $O$  とする座標平面上に曲線  $C: x^2+y^2=16$  があり,  $C$  上の2点  $A, B$  が  $\cos \angle AOB = \frac{3}{4}$  を満たす。

このとき,  $|\vec{OA}|=|\vec{OB}|=\sqrt{\quad}$ ,  $|\vec{OA}+\vec{OB}|=\sqrt{\quad}$  であり,

$\triangle OAB$  の面積は  $\sqrt{\quad}$  である。

【解答】 (ア)  $4$  (イ)  $2\sqrt{14}$  (ウ)  $2\sqrt{7}$

- 5  $\triangle OAB$ において、辺  $OA$  を  $2:1$  に内分する点を  $L$ 、辺  $OB$  を  $1:2$  に内分する点を  $M$ 、辺  $AB$  を  $3:2$  に内分する点を  $N$  とする。線分  $LM$  と線分  $ON$  の交点を  $P$  とするとき、 $\overrightarrow{OP}$  を  $\overrightarrow{OA}$ 、 $\overrightarrow{OB}$  を用いて表せ。

解答  $\overrightarrow{OP} = \frac{1}{6}\overrightarrow{OA} + \frac{1}{4}\overrightarrow{OB}$

- 6  $\triangle OAB$  の辺  $OA$  を  $2:3$  に内分する点を  $C$ 、辺  $OB$  の中点を  $D$ 、辺  $AB$  を  $1:2$  に内分する点を  $E$  とし、線分  $BC$  と線分  $DE$  の交点を  $P$  とする。

(1)  $\overrightarrow{OP}$  を  $\overrightarrow{OA}$ 、 $\overrightarrow{OB}$  で表せ。

(2) 線分  $OP$  の延長と辺  $AB$  との交点を  $Q$  とするとき、 $\overrightarrow{OQ}$  を  $\overrightarrow{OA}$ 、 $\overrightarrow{OB}$  で表せ。

解答 (1)  $\overrightarrow{OP} = \frac{2}{9}\overrightarrow{OA} + \frac{4}{9}\overrightarrow{OB}$  (2)  $\overrightarrow{OQ} = \frac{1}{3}\overrightarrow{OA} + \frac{2}{3}\overrightarrow{OB}$

- 7  $\triangle OAB$ において、辺  $AB$  上に  $t\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{AC}$  ( $0 < t < 1$ ) となる点  $C$  をとる。 $OA=1$ 、 $OB=2$ 、 $OC=1$  のとき、次の問いに答えよ。

(1)  $\overrightarrow{OC}$  を  $\overrightarrow{OA}$ 、 $\overrightarrow{OB}$  および  $t$  を用いて表せ。

(2) 内積  $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB}$  を  $t$  を用いて表せ。

(3)  $AC=1$  のとき、 $t$  の値を求めよ。

解答 (1)  $\overrightarrow{OC} = (1-t)\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$  (2)  $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} = \frac{2-5t}{2(1-t)}$

(3)  $t = \frac{-1 + \sqrt{13}}{6}$